

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
株式会社ヒヨシダイ

発行責任者
濱崎 博

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

もちつき、どんど焼きまつり

新春の1月11、12両日開催

日吉台学区の新春恒例
風物詩、「もちつき大会」
と「どんど焼きまつり」
(日吉台青少年育成学区
民会議、日吉台夢・未来
事業推進委員会主催)が

自治連改革案、臨時総会に提案

12月22日午前10時、市民センターで開会

学区自治連合会は11月16日開いた定例役員会で、自治連合会改革に係る日吉台学区自治連合会則改定案について、議案として提案することを決めた。12月22日午前10時、日吉台市民センター大会議室で、学区自治連合会臨時総会を開催、改定議案の承認を求める。

組織改革と負担軽減

改革案は、現在の役員会組織をスリム化、執行部組織を少人数に

組織の改革については①現行の自治連事務局会議を拡充して執行部を新設する②会長の任期について、継続3年限度を5年に改める③役員会、定例協議会などの開催頻度の削減を骨子としている。新たに設ける執行部組織は、会長1名、副会長1名、事務局次長1名、事務局次長1名、会計1名の計5人で構成、会長に集中する各種業務の分散

と集団運営体制で施策の偏りを防止する。会長の再任条項の変更は、なり手の確保が著しく難しい会長就任者の選任負担を軽減させるのを目的としている。また、役員会、定例協議会などについての開発頻度の変更では、月例開催の規定を解除して必要に応じて開催するように柔軟性を持たせることにした。

学区要望回答

自治連合会要望分

公民館使用関係要望

①オンライン申請につきましては、今後その必要性や導入範囲、費用対効果と合わせ検討してまいります。②公民館の管理につきましては、大津市立公民館の設置及び管理に関する条例(以下「条例」といいます)に基づき運用しているところです。条例第4条では使用の許可について、条例7条では使用料及び利用料金について、それぞれ規定されており、条例第7条第2項では「会議室の使用料等は、許可の際に納付しなければならない」と規定されていることから窓口で事前に申請していただくこととなります。従って、電話やメールで受け付けさせていただきます。③複写紙での運用を検討してまいります。

3西、ネコ多頭飼育問題

動物愛護センターに悪臭の相談が寄せられる等適正に飼育できていない多頭飼育者に対しては、不妊去勢手術をすること、これ以上数を増やさないこと、動物を新しい飼い主に譲り渡し数を減らすこと等の適正飼育の指導助言を当該飼育者に行っております。

また、多頭飼育者や、動物の保護活動をするなど飼育者を支援する第二種動物取扱業者に対して、猫の不妊去勢手術及び検査治療の費用の補助を行なう制度を令和6年4月に創設しており、この制度も活用するなど、良好な生活環境の保全が図れるよう、努めてまいります。

西治彦さん、市自治連特別功勞で表彰



長年わたり自治連合会活動に多大な功績を残しているとして学区自治連合会の西治彦事務局長が10月26日、大津市の琵琶湖ホテルで開催された大津市自治連合会創立70周年記念式典で、市自治連合会特別功勞表彰された。西事務局長は、自治連合会事務局長歴5年、事務局次長歴3年ほか通算10年余にわたって学区自治連合会の事務局の要職を歴任、歴代の会長を支え日吉台学区の自治連の要として多大な功績を残した。また市内学区でも早い時期となる平成26年に学区ホームページを立ち上げ10年余にわたって更新続けながら運営を継続、学区の情報発信や記録の電子化にも大きく貢献した。

山本由美さん、市スポーツ協会振興奨励賞表彰



学区スポーツ少年団事務局長の山本由美さんが、11月23日大津市役所で開催された一般社団法人、大津市スポーツ協会表彰式典で、スポーツ協会振興奨励賞の表彰を受けた。山本さんは、平成17年4月から日吉台スポーツ少年団指導者、同20年には、同スポーツ事務局長に就任し、学区の小学生のスポーツ振興に功績を残したほか、日吉台小PTAバレーボール部のコーチとしてスポーツを通じ学区民の体育振興、体力づくりに寄与。また、平成17年4月には、学区体育振興会(現スポーツ振興会)の会計長に就任、19年余を経た今も同振興会の会計業務ほか、会の運営管理に尽力している。

闇バイト強盗事件下見?

不審な訪問に注意

日吉台学区内の独居老人宅で、太陽光発電の説明と称して男2人が住宅内に入り込み、室内を観察するという出来事があり、11月学区自治連合会定例役員会で報告された。自治連では、この不審者情報、闇バイトによる強盗事件の下見の可能性

が強いとみて、学区住民に不審な訪問セールスには対応しないよう厳重な警戒を呼び掛けている。報告によると、一人暮らしの女性宅に、新入社員ふうの若い男と、上司ふうの男が訪問、男らは住民のインタフォン越しの対応を押し切り、玄関内には入り込み、カタログらしきものを見せながら若い男が室内の様子を伺っているようだったという。そこへ隣に住む知人男性が現れたため男たちは早々と説明を打ち切り退散したという。最近、関東地方で闇バイトによる強盗事件が多

発。警察によると、これらの強盗事件では、発生前に必ず付近で不審者による下見事案が報告されている。最近、同じ大津市内のローズタウンで、窓ガラスを割って若い男が侵入する事件が発生しており、学区自治連では、夜間住宅の戸締りを厳重に、訪問者があっても決して庭先内、家屋内に入れないよう、見知らぬ人へのあいさつなどの声掛けなどを呼び掛けている。

1月11、12日の両日、日吉台小で開かれる。

もちつき大会は、11日の土曜日午前10時、小学校体育館、中庭で開催。餅米約30キロを子どもたちを含めみんなでお餅をつき、ぜんざいやダイコンおろし、きな粉餅にして食べてもらう。もちつき大会は、当日雨でも実施する。

「どんど焼きまつり」は、12日の日曜日の午前10時同小グラウンドで開催。どんど焼きに使うしめ縄や書初め、正月飾りは、各家庭から持参してもらい、残り火でお餅などを焼く。また、当日の参加者にはあつあつの豚汁もふるまわれることになっている。「どんど焼きまつり」の当日が雨の場合は、翌13日に順延される。

問い合わせは、同事業推進事務局の山本由美さん(090・4279・8798)。

秋深まり、日吉台まつり開催

あふれる感動、はじける笑顔

出店ブースでは長い行列

日吉台学区住民待望の最大行事、令和6年度「第26回日吉台まつり」が10月26日夕、日吉台小学校グラウンドで開催された。秋の冷え込みを警戒して昨年比1週間ほど開催日を繰り上げた。まつり当日は、晩秋というのに暖かく絶好の祭り日和。会場には、スタートと同時に、大勢の学区民が詰めかけ盛況、昨年に比べ参加者が増えていたのではないかとの声も出て、出店ブースでは、長い行列ができていた。ステージでは、歌って踊って盛り上がり参加者やスタッフからは元気いっぱい笑顔があふれ、深まりゆく秋のひとときを楽しんでいた。

猛暑による熱中症を警戒して秋のこの時期に開催を延ばし、イベント名を「夏まつり」から「日吉台まつり」と改めまつり

のレベルが年々向上しているという。午後4時半、校庭に半円形に並んだ出店ブースが開店。午後5時、ステージで実行

委による開会宣言が行われ、まつり行事がスタート。秋開催となった夏も商品は姿を消したが、たこ焼き、イカ焼き、焼き鳥、アルコール類、清涼飲料水、ゲームコーナー、ピザなど趣向こらしたお店は健在。今回からキッチンカーも登場し、注目された。夜のとぼりが降り、各出店ブースやステージに明かり入れられるとまつりは最高潮。各コーナーでは、行列が目立ちはじめ、食材不足で早々と閉店するブースもみられた。

参加者



フィナーレでマツケンサンバを踊る日吉台まつりの参加者

ステージでは、バンド演奏や、お嬢サンバ、オバサンバチームによる子どもから大人までみんなで楽しめるリズムカルな演舞、ステージ下では江州音頭の踊りの輪もできるなど楽しい催しが繰り広げられ、フィナーレの「みんなでマツケンサンバを踊ろう」では、まつりの終了を惜しむ参加者

らのアンコールの大声援。すっかり日吉台まつりの名物になり、スタッフや出演者、参加者らみんながひとつになつて楽しいまつりを締めくくった。

ようこそ先輩

後輩の児童とふれあい交流

卒業生の三日月知事

日吉台小



大塚国際美術館を訪問
老若バス旅行

世界26か国の有名絵画の美を堪能できる徳島県鳴門市鳴門町の大塚国際美術館を見学する学区老人クラブ連合会の「日帰りバス旅行」が9月26日、会員ら47人が参加して行われ、芸術の秋の旅を楽しんだII写真。

今年のバス旅は、天候にも恵まれ、明石海



峡大橋を経て四国路へ。四国八十八カ所巡礼一番札所霊山寺を参拝後、目的地の大塚国際美術館に到着、一行は、同美術館で展示名画を堪能、いながらにして世界の美術を味わっていた。



合唱Xマスコニサート
12月14日、市民センターで

日吉台合唱団（渋谷かおり団長）12月恒例の「日吉台合唱団クリスマスコンサート」が

の縁」が12月14日、日吉台市民センター大会議室で開かれる。午後1時30分開場、同2時開演。入場無料。曾田俊和さん、西谷真理子さん指揮、松田みゆきさんのピアノ演奏。「夢売り」「水のいのち」ほか。

日吉台小学校卒業生の県知事、三日月大造さんを招いた日吉台小コミュニティスクール事業、「ようこそ先輩」三日月知事を再度お迎えして」(学区まちづくりカンパニーなどの実行委主催)が10月31日、母校の日吉台小体育館で開かれ、同小の子どもたちが知事と楽しくふれあつた。同小では、2019年10月にも同知事を招いて児童らと対話の時間をもうけており、2回目の事業。

三日月知事は、1982年、日吉台小開校とともに5年生から同小に通学し、84年に同小を卒業。衆院議員を経て2014年7月から県知事を務める。

この日の「ようこそ先輩」では、子どもたちの拍手で迎えられた三日月知事は「日吉台小学校ができて、5年生のときからこの小学校へ通った」と後輩たちに自己紹介。このあと、子どもたちに琵琶湖について〇×のクイズを出し、日本一の琵琶湖を紹介、児童たちはこの知事のクイズですっかり琵琶湖の物知りになった。会場では、知事に対して質問コーナーも設けられ後輩たちから「なぜ知事になったのですか」「知事の仕事を大変なこととはなんですか」など鋭い質問も飛び出した。「学校のトイレを改善して欲しい」と子どもたちから陳情の要望があり「調査したい」と知事の回答を引き出し、会場から歓声があがった。

最後に三日月知事は、後輩たちと日吉台小学校校歌を合唱。子どもたちは知事と一緒に有意義な時間を過ごすことができたと、(後輩の子どもたちと日吉台小校歌を歌う三日月知事)